

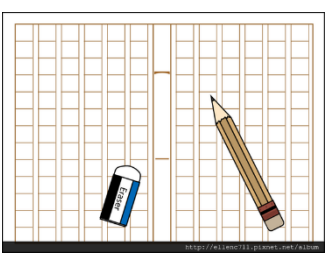
☆めあて

せしめいぶん

かた

説明文の型を知ろう。

○説明文とは…筆者が伝えたいこと、教えたいことを書いた文章のこと。
決まった型を使うこと、よりのたわらやすくなっている。



教科書の文章で型をかくことよ。

かくことポイント①

【問】…説明文のスタートは「問」から始まるよが多。 「問」とは、筆者から読者である君たちへの問いのよ。
今回の文章だよ・・・

①

②

よのよの「問」が読者に投げかけられてます。

かくことポイント②

【答えと説明】…「問」があねは、「答え」がめす。「問」に対する「答え」がよのよあねの、ながつてめよ。そつ、その「答え」をよのよわつて説明つてよのよ、よの文章だよ。

教科書②だよのよ

①の「答え」に _____ 線を、②の「答え」に _____ 線を、「説明」に _____ を引くよ。

にた音や同じ言葉を使って文を作るのが、しゃれです。たとえば、「ふとんがふっとんだ。」

「イクラはいくらだ。」がそうです。しゃれは、「ふとん」と「ふっとんだ」や、食べ物の

「イクラ」と数やねだんをたずねる「いくら」のように、にた音や同じ音の言葉を使って作られます。言葉には、にた音や同じ音であっても、意味がちがうものがあります。しゃれに

は、言葉のもつ音と意味とを組み合わせるといふ楽しさがあるのです。

教科書③だんらくでれん習

上から読んでも下から読んでも同じになる言葉や文が、回文です。回文には、「きつつき」や「しんぶんし」のような短い言葉もあれば、「わたしたわしわたしたわ。」のように長い文のものもあります。回文になっている言葉や文を見つけたり、自分で作ったりする楽しさがあります。回文は、長くなればなるほど、作るのがむずかしくなりますが、できたときのうれしさも大きくなります。

教科書④だんらくでれん習

言葉を作っている文字のじゅんばんをならべかえて、べつの言葉を作るのが、アナグラムです。たとえば、「とけい」をならべかえると、「けいと」という言葉ができますし、「くつみがき」をならべかえると、「実がつく木」というひとまとまりの言葉ができます。アナグラムには、元の言葉とはまったくちがう意味の言葉を作る楽しさがあります。

型の決まりは分かったかな？

かくごん！

・説明文のほうじょうは、



から始まる。

これは、大事だぞ！
しっかりおぼえておこう！！



・「知ん」は、かならずだんごんの



文目に書かれています。

・「知ん」の後には、「知ん」をくわつ



する文章が書かれます。

わすじり・・・

・じつまでの文章をまよめるじつを表すキーワード



が、わすじりだんごんのわすじり書かれます。